

# 災害流木再生プロジェクト

2017年7月、九州北部は未曾有の豪雨災害に見舞われました。九州大学では「九州北部豪雨災害調査・復旧・復興支援団」を結成し活動を続けています。その一環として九州大学 芸術工学研究院では「災害流木再生プロジェクト」を行っています。

このプロジェクトは、災害流木のいのちを**未来にむかう力として再生させる**ものです。

## 災害流木によるものづくり

建築：公共施設の看板づくり  
デザイン：家具や子供たちの木育WS  
アート：流木を素材とした彫刻制作



災害流木は泥や石を含み、傷があるため製材に手間とコストがかかります。被災地の杉岡製材所に協力いただいています。



樹齢132年のクスの流木で水の守り神(龍)を彫刻し、被災地小学校に設置予定です。



公共施設のサイン(看板)に流木を活用し、自治体間交流に繋がります。(田上健一教授)



流木をつかった家具・木工品作り。子供のための木育を行います。(尾方義人准教授)



流木の葉(しおり)の収益は朝倉市の義援金となり、復興の一助になります。